親子でつくる交通安全プロジェクト

子どもの通学路を守る アニマル交通安全隊

子どもたちが毎日通る通学路を守る力になりたいと
企業として交通安全運動や啓発活動に取り組んでいる
「メイク広告株式会社」が考える交通安全プロジェクトが
親子でつくる『アニマル交通安全隊』です。

子どもたちが毎日通う通学路には危険がいっぱい

新学期が始まり、ようやく生活リズムも整ってきた6月。ちょっとした心のゆるみは大人だけでなく子どもにも。そんな時、気を付けなくてはいけないことのひとつが「交通事故」ではないでしょうか？

車やバイク、自転車との追突など、事故は大きな通りで起こる痛ましいものだけでなく、普段何気なく使っている道でも起こります。自分の子どもが交通事故に遭うなどと考えたい親はいません。しかし全世界で毎日のように交通事故のニュースを目にするのが現実です。

そんな中、「子どもの通学路を守る力になりたい」と、子どもの通学路を守る『アニマル交通安全隊』という交通安全プロジェクトで啓発活動を行っているのが和歌山市梶取のメイク広告株式会社です。メイク広告は看板や広告などを提案する会社で、代表取締役社長の上野健司さん(36)以下、営業・施工・デザイナーなど各部門のエキスパートが集います。

上野さんは、本業である看板など製作に携わりながら、道路に設置されている交通安全の看板を見て、「いつ、どのように設置され、どれだけの効果があるのだろうか」と日々考えていました。そんなとき、人と環境に優しい街づくりから〝全米一住みたい町〟と言われ注目されているオレゴン州ポートランドを訪れる機会があり、そこで〝地域が一丸となって交差点に絵を描くことで事故が減少した〟というシティリペアと言う取り組みを知り、これだ！と思ったそうです。

そして考え出したのが「看板とデザインの力で子どもたちの通学路を守る力になりたい！」「自分たちができることで子どもたちの心に残る交通安全対策を」というアニマル交通安全隊プロジェクトなのです。2015年9月に正式にプロジェクトを立ち上げ、活動をスタートしました。

親子の絆、地域の人たちとのつながりも！

上野さんは、親子や地域の人たちと楽しくコミュニケーションをとりながら「とびだし注意」の看板をつくることで、交通事故を「自分自身のこと」として考える感覚が子どもたちに芽生え、交通事故減少につながるのではないかと考えました。そして、子どもたちに気を付けてほしいことをきちんと伝える時間をもつことができるのも利点と考えています。

上野さんは「交通安全について考えながら自分たちで作った看板を保護者だけでなく、この取り組みを通じて地域の人たちとのつながりを持つことが子どもたちを守る最大の力ともなります」と話します。また交通安全という側面だけでなく、痛ましい事故・事件の抑止力になる力も備えているとの言葉も。このキットは同社で販売していますが、ネット通販でも購入できます。看板パネルやペンキ・注水タンクもセットになっているので、完成したらすぐに設置でき、製作の目安時間は約1時間半。防犯面もさることながら、通り道にカラフルな色のかわいい看板が立つことで、行きかう人の心も和みます。夏休みの工作として作ってみてもいいかもしれませんね。

一緒につくる過程で、子どもたちに交通ルールやマナーを教えてあげれば、楽しい思い出と共に子どもたちの記憶に残ります。

2枚のアニマル看板の顔に、専用のペンキで色をつけよう。楽しく自由に塗ってね。

まずは色をつける準備をしよう。アニマル看板の下に角材やダンボールなど適当なものをひいて、塗りやすくなるように工夫してみよう。

キットの中身は「アニマル看板×2枚」、「支えの柱」、「ウエイト注水タイプ」、「絵具(有機溶剤が入っていない屋外対応の塗料)セット」、「とびだし注意の旗」「説明書」。

みんなと協力したり相談したり楽しみながらつくって、記憶に残る素敵な時間にしてね。

塗り終わったら、よーく乾かします。乾いたら、「とびだし注意」の旗を貼りつけよう。

ウエイトに水を入れ、できあがった看板を差し込んだら完成！ウエイトなしのキットもあるよ。

「アニマル交通安全隊」についてのお問い合わせは「株式会社メイク広告」へ。webからのお取り寄せもできます。☎073-455-1072　http://meiku-ad.jp　和歌山市梶取42-1

＼上野社長に聞く／このプロジェクトへの想い

「子どもを守るために してあげられること」

メイク広告株式会社
代表取締役 上野健司さん

「毎日送り迎えしてあげたいけれどできない、自分が子どもを守るためにしてあげられることはないものか」、これは、私の子どもが小学校に入学するようになった時に頭に浮かんだ事です。しかし日がたつにつれ、親も子どももその環境に慣れ、心配する気持ちが薄らいでいきました。

それでも『危険』は常に潜んでいますし、親はその危険に対して、注意や目くばせをし続ける必要があるのではないだろうかと考えていた時に訪れたポートランドで、地域の人が集まり、相談して交通安全を啓発する絵を描きそれを掲示することで車を運転する人に注意を促し子どもたちを守ろうという取り組みを知ったんです。それを目にした瞬間、自分にできることはこれだと確信を持ち、手探りながら『交通安全プロジェクト』をスタートさせました。地域で作る、親子で作ることを通じて、交通安全の意識が高まり「この看板を見たときお父さんお母さんはあんなこと言ってたな」と思い出す事ができます。また、看板を一緒に作ってから、「飛び出し注意」という言葉を子どもが発するようにもなりました。

自分たちの事業もこの和歌山という場所と人々がいてこそ成り立っています。地域の中で少しでも必要とされるよう自分たちが持っている技術で解決できることがあれば、これ以上の喜びはありません。これからは、看板を出されている企業様に、お店の看板の下に飛び出し注意や避難経路など記した内容を盛り込むなどして、ちょっと社会の役に立つ広告企画をご提案していきます。

また、子どもたちとは地域のイベントに参加するなど看板づくりの体験で交通安全の意識を高めて1件でも事故を無くしたいと思っています。決して自社の製品を使う必要はありません。同じようなことを真似していただいても早く取り組んで頂けたらと心より願っています。自分たち1社での取り組みにも限界があります。一緒に活動していただける企業様などおりましたらお気軽にお声をかけていただけますようお願いします。交通安全のためのイベントを開催してもらいたいなどご要望があれば、できる限り力になりたいと思っています。

最後に、いろんな体験や出会いに感謝し、自分がこのような思いをもてるように導いていただいた皆様に感謝いたします。

今回の特集を記念して、メイク広告から「アニマル交通安全隊員キット」と「とびだし注意ののぼり旗(らくり&メイク広告ロゴ入)」をプレゼントしていただけました。ご希望の方はメイク広告HPの問い合わせフォームよりご連絡を。順をおってのご対応となります。

らくり読者限定プレゼント！

「アニマル交通安全隊員キット」と「のぼり旗(らくり&メイク広告ロゴ入)」をセットにしてプレゼント！

[応募方法]
下記バーコードの問い合わせフォームからご連絡を。
締め切りは6月20日
※数に限りあり